

海外乳製品市況

全粉乳・脱脂粉乳

6月から新シーズンが開始したニュージーランド(以下NZ)では、6月の生乳生産量が12万2千メトリックトン(以下MT)前年比6.9%減、一昨年比3.9%減でした。この数量は、ピーク時10月の生産量の3~5%にあたる量で、一般的にも生産量が落ち込む時期です。しかし、8月下旬の直近の生乳生産量は増加してきているとDAC(開発援助委員会)NZより報じられています。

牧草、乳牛共にシーズン早期としては良好な状態であり、乳製品国際相場に反映した高値の乳価により、酪農家の生産意欲は高まっています。

フォンテラ社のWPC(ホエイプロテインコンセントレート)製品へのボツリヌス菌コンタミの報道がありましたが、中国をはじめとした輸入規制は緩和されつつあり、豪州の生乳生産量は僅かに増加しています。

クイーンズランドとニューサウスウェールズは多雨となっており、乳牛を牛舎に避難させる往来時に牧草は損傷していますが、一般的には乳牛の状態は良好で増加傾向にあり、穀物の収穫量、牧草の状態も良好と判断されています。

乳価も適正水準である状況から、酪農家の経営状態は改善しています。

Dairy Australiaによると、6月の生乳生産量は前年比6.8%減、2012年7月から2013年6月までの生乳生産量は920万リットルと前年比3.0%減となりました。全粉乳、脱脂粉乳に関し、8月20日のgDT(グローバル乳製品取引)平均落札価格は全粉乳がUS\$5,124/MT(+2.7%)と上昇、脱脂粉乳はUS\$4,426/MT(▲0.7%)となっています。

欧州の生乳生産量は良好な天候、高い乳価と飼料価格の低下に起因し、シーズン前半の不調から回復を見せています。ドイツ、オランダ、フランス、イギリスで生乳生産は増加しており、東欧ではポーランドの7月の生乳生産量は前年比2.8%増となりました。

需要は、域内と輸出市場の両方で良好で、先の部分まで求めているバイヤーも存在します。製造メーカーは遅れていた契約済製品の生産を終えたのちに収益性の高いプロダクトミックスに切り替えている模様です。gDTに欧州産脱脂粉乳で参加しているArla社の価格は、US\$4,396/MTとNZ産よりも安くなっています。

相場動向(8月29日米国農務省調べ・港渡価格)

- オセアニア 全粉乳：US\$4,650 - 5,350/MT 脱脂粉乳：US\$4,400 - 5,000/MT
- 欧州 全粉乳：US\$4,900 - 5,250/MT 脱脂粉乳：US\$4,200 - 4,550/MT



バター・その他乳脂肪

オセアニア産バターの価格は底値は上昇し、高値は下降とその価格幅が狭まっています。バターの生産量は季節的に減少しており、在庫は限定的です。ロシアは依然NZ産バターの輸入禁止をしています。

8月20日のgDT平均落札価格はバターがUS\$3,614/MT(+3.3%)、AMF(無水乳脂肪)はUS\$4,931/MT(+7.1%)と上昇しました。

欧州産バターの価格は堅調な需要と強いユーロに反映されて上昇しています。価格が高い為、バターの船積みは既存客向けがほとんどです。クリームは別の乳製品向けに引っ張られている為、バターの生産量は低下しており、在庫も減少しています。3月1日に開始したPSA(民間在庫補助)では8月15日までに8万9,321MTが受理され、前年比33%減、一昨年比15%減となっています。

相場動向(8月29日米国農務省調べ・港渡価格)

- オセアニア バター：US\$3,450 - 4,400/MT
- 欧州 バター：US\$5,375 - 5,775/MT バターオイル：6,100 - 6,750/MT

